



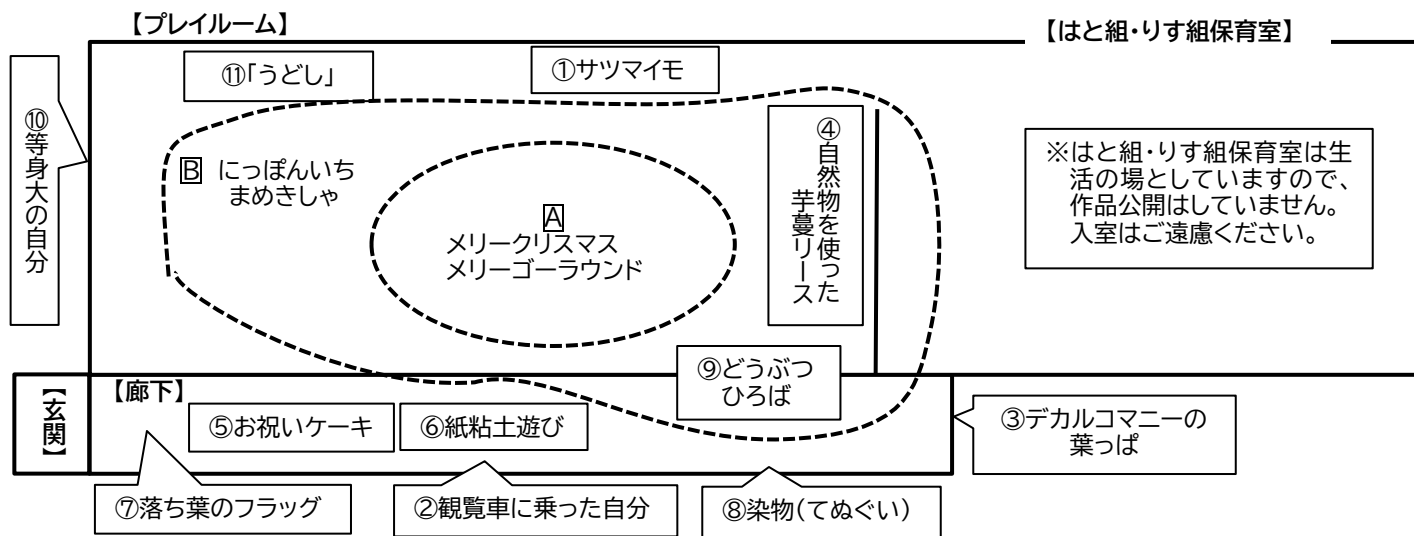
いすぐみだより はとぐみだより



No. 6
 令和4年11月30日
 港区立本村幼稚園
 園長 山村 登洋
 担任 鈴木 優雅
 中山 利広

★ 展覧会特集号 ★

いよいよ明日より展覧会が始まります。技法を中心とした個々の作品や異年齢のグループでの作品作りをしてきました。また、共同製作ではあらかじめ遊園へ遠足に行った経験を生かして、「ほんむらわくわくらんど」を作りました。グループの仲間と相談して作った設計図で確認したり、予定表で見通しをもったりしながら作業を進めてきました。特集号では、作品の展示場所や作品の内容、子どもたちの取組の様子についてお伝えします。どの作品も力作ですが、作品の出来栄だけでなく、完成に至るまでの経緯や過程にも着目して参観いただけますと幸いです。




【保護者の方の参観中の動き】

☆先日お配りしました「展覧会のお知らせ」や、プログラムも併せてご確認ください、ご参観ください。

1日(木)、2日(金)の参観時間はそれぞれ違いますのでご注意ください。

- ・参観開始時間までは、玄関や廊下でお待ちください。準備が整い次第、プレイルームにお呼びします。
- ・参観時間中は、本村小学校1年生と関わる姿を参観してください。

	幼児の活動	見ていただきたいところ
参観開始前	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで集まり、活動の流れを確認する。 ○グループごとに集まり、「ほんむらわくわくらんど」の役割の確認・物や場の準備をする。 	 <ul style="list-style-type: none"> ・グループの中で自分の役割が分かって動いていますか。 ・友達に自分の考えや思ったことを伝えたり、話を聞こうとしたりしていますか。 ・友達と声を掛け合ったり確認したりしながら遊びを進めていますか。 ・お客さんに分かるように話したり、関わろうとしたりしていますか。
参観開始 (20分間程度)	<ul style="list-style-type: none"> ○役割に分かれて「ほんむらわくわくらんど」を始める。 (本村小学校1年生が遊びにきます) 	
参観終了	<ul style="list-style-type: none"> ○本村小学校1年生を見送る。 ○使った物を片付けたり、場を整えたりする。 ○グループごとに明日の準備等の確認をする。 ○みんなで集まり、今日の活動の振り返りをする。 	

・降園後、14時～15時は、一般参観(鑑賞時間)です。どなたも自由に参観ができます。ゆっくり写真・ビデオ撮影もできます。「ほんむらわくわくらんど」には、壊れやすいものもあります。小学生以上の方は鑑賞のみにしてください。必ずお子さんが付き添い、目を離さないようにしてください。

【共同製作】「ほんむらわくわくらんど」

園だよりの年長組「指導の重点」等でもお伝えしていますが、特に年長組は親子運動会などの行事への取組も含め、みんなで共通の目的に向かって相談したり、考えを出し合ったり、協力したりして友達と一緒に活動を進める協同的な遊びの経験をしています。展覧会では、普段から楽しみ、友達とのやりとりやイメージを実現していく面白さを味わえる「ごっこ遊び」を通して、互いに気持ちや考えを出し合ったり、聞いたりすることや、思い通りにいかないことや意見の食い違いなどで起こる葛藤体験をしたり、役割を自分なりに果たそうとする気持ちをもったりすることを大いに経験し、みんなで力を合わせてできた達成感や満足感を得られるようにしていきたいと考えました。特に今年度は異年齢での保育を実践していますので、年少組と年長組と一緒に力を合わせていけるように教師が援助しながら取組みました。教師にとっても学びの多い経験となりました。

あらかわ遊園遠足の経験から約2週間の作業期間を経て、試行錯誤したり、協力したりして作り上げてきた”ほんむらわくわくらんど“がいよいよオープンします。自分たちも、お客さんもわくわくする場所が出来上がりました。当日は友達と役割を分担したり、力を合わせたり、お客さんとやりとりしながら関わったりする姿や、次の日のことを見通して仲間と相談したり、準備したりする姿をご覧ください。

「ほんむらわくわくらんど」の見どころ

A メリークリスマスメリーゴラウンド

比較的作ることが好きなメンバーも、設計図での相談はなかなか苦労していたようでした。一人一人が設計図の中に描いた乗り物を全部作りたい気持ちで一杯でした。しかし、人数の少なさで実際の作業が難航。まずは馬車とトナカイを仕上げよう！と決めて黙々と取り組んでいました。作業に慣れてくると相手の作業が遅れていることを気に掛けて手伝う動きや、年少組にも声を掛けて作業に誘う年長組、徐々に作業が分かって一緒に活動しようとする年少組の姿が見られ始めました。次第に集まることも早くなり、好きな遊びよりも先に自分たちのグループの遊園地作りを進める意欲が見られました。

試運転の段階で、乗り物のスピード調整が難しく互いの乗り物を衝突させてしまいましたが、練習を重ねてだんだんとうまくなっていったことで自信をもち始めていました。メリークリスマスが付いたネーミングは、トナカイや馬車の乗り物やこの季節にちなんだ発想からのようです。素敵なクリスマスソングに合わせて運転します。



ぼくはこうしたいな、わたしはこれがいい。
みんなでどうしようか。(設計図作り)

考えたことをみんなに伝えよう。
(伝え合いや振り返りの活動)



一年生、来てくれるかな。(招待状作り)

B につぼんいちまめきしゃ

毎朝予定を確認して、「今日も頑張ろう！」と張り切っているグループです。しかし、時間に集まったけど1人いない、活動が一つ終わると一度みんなどこかへ行ってしまう、再び集まるまでに時間が掛かるグループでした。年少組の子が「先生、年長さん来ないよ、どうしよう」という日もありました。好きな遊びもしたい、でも遊園地作りもしたい。そんな気持ちも出来上がっていくにつれて目的に向かって1つになっていきました。疲れてしまってなかなか汽車作りが進まないこともありましたが、出来上がると場づくりをどんどん進めて行きました。力を発揮したのが線路作りです。ビニールテープを持ってあちらこちらからテープを貼り始め、つながった時には大喜び。グループのメンバーの中には汽車や電車が好きな子が多いので、自分が汽車になったつもりで出来上がった線路を何周もしていました。

名前に「につぼんいち」が付いているのは、みんなで作った豆汽車を日本中のどこにもない唯一の豆汽車として自慢したい気持ちからのようです。動物の絵や落ち葉が飾られたトンネルを慎重にくぐり抜けながら力を合わせて豆汽車を走らせる姿を温かく見守ってください。

個人製作・共同製作の紹介

①「サツマイモの絵」(輪郭:アクリル絵の具 着色:水彩絵の具)

畑からゴロっと出てきた、みんなで育てたサツマイモ。サツマイモの蔓を筆やペン代わりにして黒色の絵の具を付けてサツマイモの輪郭を描きました。サツマイモをよく触ってみると、「根がある」「皮が削れて黄色っぽいところがある」など、観察して気付いたことや感じたことを表現しました。その子らしい個性豊かなサツマイモの描画になりました。さらに、着色に色合いの違う紫色や黄色、茶色の絵の具を用意したことで、自分のサツマイモに近い色を選んだり、さらに混色したりして使い、本物らしいサツマイモの絵に仕上がりました。収穫したサツマイモはスイートポテトや味噌汁にして、みんなでおいしくいただきました。

②「観覧車に乗った自分」(色画用紙の貼り絵)

観覧車も乗り物として作りたかった子供たちの思いを受け止め、「ほんむらわくわくらんど」を見守るように壁面にすることにしました。顔の作り方は発達を考慮して学年で経験を変えています。年少組は顔の土台に色画用紙を切って髪の毛を表現し、目や鼻などの顔のパーツはクレパスで描きました。年長組はすべてを切り絵で表現しています。観覧車の乗り物や洋服の色は自分の好みの色を選択しました。

③「デカルコマニーの葉っぱ」(水彩絵の具)

有栖川宮記念公園の公園清掃や散歩などを経験して、落ち葉の色付きの美しさに気が付いた子供たちです。葉っぱの形に切り、半分に折った台紙の上に赤色や橙色、黄色など鮮やかな色を中心に用意した絵の具をポタリポタリと垂らし、折り畳んで再び開くとあら不思議。秋らしい紅葉した葉が出来上がりました。絵の具が混ざった美しさや不思議さを感じたり、どんな模様が出るか試したりしながら、自分だけの葉の完成を喜んでいました。

④「自然物を使った芋蔓リース」(サツマイモの蔓、ドングリやドライフラワーなどの自然物、ボンド)

自分たちで育てて、友達と力を合わせて抜いたサツマイモの蔓でリースを編みました。年長組は友達や教師に手伝ってもらいながら、年少組は教師と一緒にカラーコーンにクルクルと巻き付けました。数日経って蔓が乾いてきた頃に、好きな色のリボンを選んで巻きました。園庭や有栖川宮記念公園で集めたドングリ、木の実、種、葉、マリーゴールドやセンニチコウのドライフラワーなどをボンドで付けて飾りました。飾り付けの組み合わせ、色合いなどを工夫して付け、世界に一つだけのオリジナルリースが完成しました。2学期末には持ち帰りますのでご自宅でも飾ってください。

⑤「本村幼稚園51歳・本村小学校120歳おめでとうケーキ」(輪ゴム、京花紙、カラーポリなど)

昨年度は幼稚園50歳の誕生日。今年度は小学校が120歳の誕生日を迎えました。ブドウ、カキ、リンゴ、ミカンなど秋ならではの果物を一つ一つ丁寧に作り、教師が作ったケーキの土台に乗せたり貼り付けたりして仕上げました。できたケーキは本村小学校開校120周年記念集會に参加してお届けしました。全校生徒が見守る中、お祝いの歌と言葉も届けました。喜んでもらえて幼稚園のみんなはとても嬉しい気持ちです。

⑥「自然物を使った紙粘土遊び」(紙粘土、ドングリや小枝などの自然物)

園庭や有栖川宮記念公園でたくさん集めたドングリや小枝などを紙粘土と併せて使い、動物やケーキなどを思い思いに表現しました。自分なりにイメージをもったものや教師や友達とどんな物を作るか話題にしながら、「あれを作ろう!」「こんなのができちゃった!」と、ハリネズミや雪だるま、ケーキやドーナツなど楽しんで作っていました。

⑦「落ち葉のフラッグ」(サクラやツタなどの落ち葉、ボンド)

秋も深まり、園庭のツタや校庭のサクラなどが美しく色を変えていました。自分なりに美しさや形の面白さを感じながら落ち葉を採取し、フラッグの形に切った色画用紙の上で構成遊びをして、ボンドで接着しました。廊下の天井をおしゃれに彩ってくれています。

⑧「染物(てぬぐい)」(ウメの枝染め)

昨年度は、サクラの葉をたくさん集めて染液を抽出しました。今年度はちょうどウメの木の剪定があり、枝を使って染液を抽出することにしました。2月には赤い花を咲かせるウメの枝の皮を剥いて見ると、ほんのり赤色。「こういう色になるのかなあ」と想像しながら、子供たちも細めの枝をポキポキと折ってくれました。年長組は昨年度の経験を生かして、どんな模様になるのかワクワクしながら布にビー玉をくるんで輪ゴムで縛ったり、布を教師と固く結んだり、折り畳んで割りばしで挟んだりしました。濃い赤茶色の染液に漬ける作業も、染上がった後の水洗いも楽しい活動でした。一枚一枚違った美しさのてぬぐいをぜひご覧ください。

⑨「どうぶつひろば」(遊園地遠足で見た動物の再現を様々な素材を使って)

あらかわ遊園地遠足では乗り物に乗ることだけでなく、ウサギやカピバラ、フクロウなど様々な生き物を間近で見たり、モルモットを膝に乗せて触れ合ったりすることも楽しみました。共同製作を始めるにあたり、全員が共通して実現したい思いをもっていたのが「どうぶつひろば」です。実際に見たり触れたりした生き物の中から一つを選び、本物らしく作るために必要なパーツは何かを考えたり、色や模様こだわったりしながら丁寧に作り進めました。綿を不織布で包んでいるので、温かい触り心地になりました。どうぞ優しく触れてみてください。

⑩「等身大の自分」(油性ペン、水性ペン、水彩絵の具) ※年長組のみ

親子運動会で大いに活躍した子供たち。特に年長組には気持ちも身体も大きくなったことを実感してほしいと考え、等身大の絵を描くことで自分の体の大きさを捉えてみることにしました。まずは相手を見つけて鉛筆で型を取ってもらいました。型を取られている側はとてくすぐったいようで、そのたびに輪郭線が曲がり消しゴムで消す作業が続きました。下書きを終えると下書きの線を油性ペンでなぞりました。なぞってもなぞっても終わらない。大きな体の絵を描くこと=それだけ自分の体は大きいことを実感したようです。絵の具で着色することも、はさみで切り取ることも、作品が大きくて一苦勞でした。しかし、切り取った後は自分の体の絵を大切に持ち歩いたり、一緒に散歩したりして、友達のように親しんでいました。作品は、仲間を意識してみんなで手をつないでいます。

⑪「うどし」(毛筆「書道教室」より) ※年長組のみ

書道の師範をされている伊藤フサ子先生に教えていただき、平仮名で「うどし」を書きました。使い慣れない墨汁と筆でしたが、伊藤先生の話をよく聞いて、真似をしながら、一生懸命取り組んでいました。伊藤先生が用意してくださった手本を見ながら自分の名前を書くことにも挑戦してみました。小学校の授業と同じ45分間程度、椅子に座って真剣に活動に取り組んでいる姿に成長を感じました。

⑫「あおいそらにえをかこう」(共同画 水彩絵の具、クレパス)

歌「あおいそらにえをかこう」のイメージで、長くつなげたいろいろな青色の色画用紙に白色の絵の具でダイナミックに描きました。年少児も含めた生活グループの4~5人で描きました。自分の思いだけで描くのではなく、友達に描いていいか聞いたり、友達の質問に答えたりしながらグループの友達と描くことを意識して取り組んでいました。雲や船、飛行機、虹、家、描いているうちに止まらなくなってブラックホールや恐竜も登場。歌のイメージよりもイメージが膨らんだ表現になりました。絵の具が乾いた後日、今度はクレパスで着色したり細かい部分を描き足したりしてとてもカラフルな青い空が仕上がりました。